

蔵出しお宝ニュース

— 第 14 号 —

三原市歴史民俗資料館では、本年度より所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と、行事の案内・紹介などを随時行って参りたいと思っております。

三原市立南小学校の皆さん 来館

1月23日(水)から25日(金)までの3日間、三原市立南小学校3年生の皆さんが資料館を見学してくださいました。3年生は3組あるということで、1組ずつ日替わりでした。資料館をより詳しく理解していただきたいという思いから、A班B班の2グループにわかれていただき、A班は1階で昭和期に使用された民具の説明を受け、B班は2階で資料と照らし合わせながら簡単な三原の歴史を学んでいただきました。続いてA班とB班が入れ替わって解説を聞いていただきました。



(上) 江戸時代の干菓子を鑑賞中。

(下) 放課後に学習をするためにやって来た3人組。歴史に大変興味があるそうです。

最後に1階ロビーに集合していただき、今や資料館名物となりつつある三原やっさ最古のレコード「民謡 ヤッサ踊」を蓄音機で流しました。今と少し異なる音源に児童の皆さんは興味津々な様子で、レコードにあわせて鼓つづみの生演奏を職員が披露すると、珍しい楽器であるため注目していました。南小学校3年生の皆さんは事前学習ということで見学の1週間くらい前から土日や放課後、見学が終わった後に復習をするためにご来館くださる熱意ある児童がたくさんいらっしゃいました。自分たちが暮らす町の歴史や文化に関心を持ち、誇りに思っ成長することができる環境をつくり、子どもたちの後見を務める役割も資料館運営の重要な柱の1つであると思います。今後ご家族やご友人とお気軽にご来館ください。

平成 24 年度来館者 7,400 人を越える！

平成 24 (2012) 年度の資料館の来館者が 1 月 25 日 (金) の時点で 7400 人を越えました。近年では平成 12 (2000) 年度の 7963 人がピークで、昨年はピーク時の約半分の 3947 名でした。数年利用者が低迷していましたが、本年度は NHK や広島ホームテレビの取材、各新聞社が取り上げてくださった記事、三原テレビ放送の協力など、多数紹介していただいたおかげと、「私たちのやっさ踊り展」「蔵出しお宝展」「甲冑・打掛を着てみよう！」などの行事をいくつか計画したこともあり、ピーク時に近い入館者数が望めそうです。ありがたいかぎりです。



この度、資料館の所在がよりわかりやすくなるように、建物入り口に新しく看板を取り付けました。

三原ゆかりの貴重な古写真や掛軸なども新たに整理を進めています。随時この「蔵出しお宝ニュース」で紹介したり、資料館 1 階の置床や「蔵出しお宝ミニ展示」コーナーで披露したりいたしたいと思っております。

図書館や中央公民館などをご利用いただいた折に、ぜひ資料館へもお立ち寄りいただき、三原の歴史に触れてみていただければ幸いです。

おき どん しょん じゅう
置 床 春 秋



掛物 かんぎぼう 灌漑房秀巖 筆
花

(灌漑房秀巖は三原東町にある善教寺の住職で、池坊の華道も指南していました。)

花入 瓢箪

花 季のもの



(左上) 新しく取り付けた看板

(上) 資料館の外観

発行 平成 25 年 (2013) 1 月 28 日

〒723-0015 三原市円一町 2 丁目 3-2

(三原市立中央図書館北隣) TEL 0848-62-5595

三原市歴史民俗資料館

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。